安中市議会だより

令和８年
11月10日
No.92

ぎかいの広場

市民と議会のかけはし

語り合い、
つながる議会

― 特集　議会報告会　開催報告 ―



私たちは、開かれた議会をめざし
市民の皆さんとの対話を大切にしています

CONTENTS

特集「議会報告会　開催報告」…… 2
一般質問 …… 4
令和７年度決算 …… 10
議案解説 …… 13
お知らせ・賛否結果一覧…… 14

特集 －議会報告会　開催報告－

議会報告会を開催しました

令和８年度第２回定例会（６月）の議決結果、行政視察の報告などを説明後、参加された皆さんからご意見をいただきました。ここでは、その一部を掲載します。
※報告会には全議員 20 名が、各地区に交代で出席しました。

01 基幹集落センター（松井田庁舎）



開催日時：令和８年８月 20 日（木）
午後７時 00 分から
参加者：議員９人　市民 12 人

参加者の声

・新駅設置について、利用客が増える見込みはあるのか。

・障害のある子どもたちが気軽に集まり、安心して過ごせる居場所を作ってほしい。

・軽井沢～横川間を歩いて回遊できるよう、廃線跡のトンネル等の遊歩道整備が必要。

02 旧臼井小学校



開催日時：令和８年８月 22 日（土）
午前 10 時 00 分から
参加者：議員 10 人　市民 19 人

参加者の声

・クビアカツヤカミキリの被害が拡大しており、梅の生産量やブランドを守るための早急な対策が必要。

・シカやイノシシ、クマの出没が相次いでいる。ガバメントハンターの検討等、議論する場が必要。

・廃校となった臼井小学校の活用について、卒業生や地域住民への事前説明が不足している。

報告会の記録やいただいたご意見は、安中市議会ホームページで紹介しています。

03 秋間公民館



開催日時：令和８年８月24日（月）
午後７時00分から
参加者：議員10人　市民37人

参加者の声

・安中榛名駅周辺が開発されず、メガソーラーばかりになっている現状をどうするのか。

・議事録の公開が遅い（数ヶ月かかる）ため迅速化してほしい。

・新たに導入された「あんバス」の利用状況はどうなっているか。特に秋間地区ではどうか。

04 板鼻公民館



開催日時：令和８年８月29日（土）
午前10時00分から
参加者：議員10人　市民21人

参加者の声

・安中市でも産婦人科を誘致して碓氷病院を再生できないか。

・新駅よりも、観光の玄関口である磯部駅の改善が先ではないか。

・重度障害を持つ方がロボット「OriHime」を通じて社会参画や就労を果たしている事例がある。市内の子どもにこそ知ってもらいたい。

これからも、皆さんとともに

いただいたご意見やご提案をもとに、よりよいまちづくりに取り組んでいきます。
今後も皆さんの声を議会活動に活かしてまいります。

こんなことを聞きました

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市長に対して行う質問です。

内容は提出議案にかかわらず、市政全般に及びます。このため、質問内容は議員により様々です。

皆さんの気になっていた質問、ご自身の生活に影響のある質問はありましたか？

令和８年第３回定例会一般質問（9月16日、17日）では、10名の議員が24項目について質問をしました。

発言順に質問の要旨を掲載しています。

詳しい質問や答弁の内容は、質問者ごとに掲載している二次元コードからご確認ください。

質問項目の詳細は、以下の二次元コードよりご覧いただけます。

一般質問通告一覧表のページを表示します。

・安中市の公共交通について

安中市は第３次安中市総合計画策定や、安中市地域公共交通計画の策定に伴い、アンケート結果に基づき、市民ニーズや利便性、安全性、持続性を構築するため、路線バスと乗合タクシーを全面的に見直しました。

路線バスを「あんバス」、乗合タクシーを「あんなカー」と名付け、今年３月から運行し、利用者数も増加しています。市民はあんバスとあんなカーにほぼ満足しているようです。また、日曜が休みとなっていますが、秋間梅林や磯部温泉、碓氷峠など広い地域に観光資源が存在しており、アクセスを確保することも公共交通の使命であると認識しています。そこで、公共交通に関する予算の動向や、今後のあり方について聞きました。

その他、旧安中市役所跡地について質問しました。



あんバス･あんなカー



無所属
櫻井（さくらい）　喜久江（きくえ）

詳しい内容はこちら

・農村 RMO※および集落支援員の現状について
・若者の地元定着と市の人材確保について



新風新政会
宇佐美（うさみ）　誠（まこと）

詳しい内容はこちら

1項目目は、農村 RMO および集落支援員の現状についてです。人口減少や高齢化が進む中山間地域では、集落機能の維持と地域コミュニティの存続が大きな課題となっています。

本市では、令和7年3月に県内初となる「安中秋間地域 RMO 推進協議会」が設立され、農業を核とした地域資源の活用や朝市の開催など、新たに取り組まれています。また、集落支援員を配置し、地域課題を住民同士で話し合うワークショップも進められています。

そこで、先行する秋間地区での取り組みの成果と課題を踏まえ、他地区への展開の可能性や、今後の集落支援員の配置について質問しました。

2項目目は、若者の地元定着促進と本市の人材確保戦略についてです。「あんなかまちづくりビジョン2024」では、8年後の目指す姿として、若い世代のU・Iターン者の増加を掲げています。人口減少が進む中、進学などで市外へ出た若者に、本市を就職や暮らしの場として再び選んでもらう取り組みが重要です。そこで、市外へ出た若者への継続的な情報発信のあり方や、市役所の採用改革とUターン施策を連動させ、若者を呼び戻すための取り組みについて質問しました。

※農村RMO(Region Management Organization)…複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと。

・防災対策の治水対策や避難所の熱中症対策、冠水対策について
・市内の盛り土について

線状降水帯で大雨特別警報が発令され、経験したことのない豪雨災害が全国各地で発生しています。本市のこれまでの治水対策や温暖化の異常気象に対応するため、過去に中止となった増田川ダム※の必要性について聞きました。また、指定避難所の熱中症対策について、現状とこれまでの対応、今後の対策として小中学校体育館へのエアコン設置の整備完了までのスケジュール等について聞きました。

他市町村では豪雨で道路が冠水し車が動けなくなり、亡くなる方も多く出ましたので、本市のアンダーパスや冠水時の対応について聞きました。

安中中央体育館西側盛り土や遠丸団地の盛り土、七曲り橋南側の盛り土については、経緯や何処の土砂か、今後の対策を聞きました。

また、それぞれの盛り土は、線状降水帯のような豪雨の時は、土砂が流れ出し被害が発生することも想定されるため、盛り土の搬出予定や豪雨時の安全巡回について聞きました。



遠丸団地における県の土砂搬入場所



清風クラブ
小川（おがわ）　剛（つよし）

詳しい内容はこちら

※増田川ダム…洪水対策の治水機能強化と安定した利水に向け計画したが、公共事業見直し機運等を背景に 2015 年 2 月に中止が決定された。

・学童保育について　・公共交通について
・下水道事業について



清風クラブ
柳沢（やなぎさわ）　浩之（ひろゆき）

詳しい内容はこちら

１項目目は、学童保育についてです。小学校の児童数が減少している中で、学童クラブの利用希望者は増加傾向にあります。特に磯部小学校は、学童クラブ利用希望者が急増し、第２学童クラブの設置が求められています。そこで１点学童クラブについて質問しました。

２項目目は、公共交通についてです。公共交通は、市民の日常生活で不可欠な移動手段です。しかし、以前の公共交通は、利用者が少なく利便性の向上が求められていたことから、公共交通の全面見直しが図られました。そこで１点目にあんバスについて、２点目にはあんなカーについて質問しました。

３項目目は、下水道事業についてです。下水道整備は、公共用水域の水質保全・水質汚濁防止を図るとともに、害虫や悪臭の発生も防ぎ、住みやすい生活環境の向上に繋がります。そこで１点下水道の状況について質問しました。



下水道工事の様子

・道の駅基本計画に関する課題整理について　・全面見直しされた地域公共交通について　・市役所新庁舎におけるサイン計画について

１つ目は、道の駅建設に関する質問です。市内初の道の駅の開業には多くの市民が期待を寄せていますが、オープン時期は当初計画から実質的に延期されました。オープンするには解決しなければならない課題が山積しています。これら課題について「集客目標」、「立地場所」、「市内経済への波及効果」、「横川地区での道の駅設置の実現性」の４つの観点に整理して質問しました。

２つ目は、地域公共交通に関する質問です。今年３月から地域公共交通が大幅に刷新されました。導入から半年経過した中で見えてきた課題について、あんなカーの電話予約、廃止された路線バスの代替の状況の２点に絞り質問しました。

３つ目は、新庁舎のサイン計画に関する質問です。市役所本庁舎が５月に移転されましたが、新庁舎での案内板や男女別のトイレ表示がわかりにくい等の声があります。そこで新庁舎のサイン計画（看板などのデザインの設計）に関してどのようなプロセスを経て決定したのか質問しました。



道の駅建設予定地航空写真



無所属
原田（はらだ）　大（だい）

詳しい内容はこちら

・こどもまんなか社会の実現に向けた取り組みについて
・公共施設利用料等の減免措置について　・ワクチン接種の推進について



公明党
長嶋（ながしま）　陽子（ようこ）

詳しい内容はこちら

令和５年４月にこども基本法が施行され、子どもや若者を権利の主体として捉え、その意見を尊重しながら、社会全体で子どもを支えていくという考え方が明確に示されました。

こども基本法では、こども施策を進めるに当たって、子どもや若者の意見を反映させるために必要な措置を講ずることが地方自治体にも求められています。本市においても、子どもたちが安心して自分の意見を表明でき、その意見が市政に生かされていると実感できる仕組みを、充実させていく必要があります。そこで、こども基本法に基づく子どもの意見を聴く取り組みについて質問しました。

次に、群馬県では令和８年９月１日から、指定難病患者の方に対して県有施設の利用料等を減免することになりました。本市においても、指定難病患者の方々に対して市有施設の利用料を減免することは社会参加を促進する上で大変意義があると考えます。そこで、指定難病患者を対象とした公共施設利用料等の減免措置について質問しました。

次に、予防できる病気から市民の命と健康を守るワクチン接種の推進について、高齢者のRSウイルスワクチン※接種について、HPVワクチン※接種について質問しました。

※RSウイルスワクチン…妊娠中に接種することで、乳幼児の肺炎・細気管支炎の主要な原因である、RSウイルスの感染を防ぐことができる。
※HPVウイルスワクチン…HPVの中には子宮頸がんをおこしやすい種類があり、その一部の感染を防ぐことができる。

・平和教育および平和学習について
・国際交流および都市間交流について

１項目目は、平和教育・平和学習についてです。戦後80年を過ぎ、悲惨さを肌で知る戦争体験者は数を減らしつつあります。近年、「抑止力」という言葉が安全保障の中心に据えられ、軍事的な選択が「平和のため」として語られています。しかし、武力による抑止は相手国との緊張を高め、結果として戦争のリスクを増大させる可能性があります。戦争を防ぐ最大の力は、対話と協力、そして人権の尊重であることを確認することが求められます。そこで、本市における教育現場での平和教育や平和学習の現状、平和学習をめぐる今日的課題、地域での平和の啓発などについて聞きました。

２項目目は、国際交流・都市間交流についてです。今年度、本市では台湾との交流が積極的に進められようとしています。具体的には、本市と富岡市、長野県軽井沢町で構成する「2市1町広域観光連携協議会」による台北市への訪問。そして、本市単独での台南市との友好交流協定締結も計画されています。そこで、こうした国際交流と都市間交流の目的、計画の進捗状況、将来の交流発展に向けた方策などについて聞きました。



清風クラブ
松本（まつもと）　次男（つぎお）

詳しい内容はこちら

・在留外国人政策について
・農業政策について



無所属
金井（かない）　久男（ひさお）

詳しい内容はこちら

市内では千人ほどの在留外国人が働いていますが、10月から在留資格の手数料などが大幅に引き上げられる事態になっています。そうした中で日本語教育は欠かせませんが、市ではボランティア団体の「国際交流協会」にほぼ依存しています。事業主の努力を求めるとともに、「国際交流協会」への支援を求めました。

農業問題では、コメの価格が下がるという情勢の中で、生産者の営農意欲維持のために21万トンに続いて、残り60万トンの備蓄米の買戻しについて聞きました。

その他、最近増えているクマの出没に対するガバメントハンターの役割について、果樹栽培に打撃となるクビアカツヤカミキリによる被害樹が秋間、原市などで散見されている現状に対しての早期防除対策について聞きました。



国際交流協会主催のスピーチ交流会

・松井田城址に関連した仙ヶ滝の整備や活用について　・細野彼岸桜の保全について　・細野ふるさとセンターを拠点とする地域活性化について

1項目目は、松井田城址と仙ヶ滝の関係性について、歴史的文化的価値や来訪者への安全対策、保存のための周辺整備など、松井田城址と絡めた活用について質問しました。

2項目目は、細野の彼岸桜の保全や管理、周辺の環境整備について質問しました。この彼岸桜は、昭和25年群馬県の天然記念物第1号に指定された由緒ある桜で、群馬県の巨木古木一覧にも掲載されています。樹齢600年とも言われ、この桜を後世に残すための保全や管理、桜を活かした地域の活性化や観光活用の促進について質問しました。

3項目目は、細野ふるさとセンターを拠点とする地域活性化について質問しました。地域に必要な拠点施設として存続させるためには、「形を変えて残す」多機能化が必要です。時代や地域のニーズの変化に合わせた多様な機能を持つ複合的な施設であることなど、今後の人口減少に伴う施設のあり方について質問しました。



仙ヶ滝



新風新政会
金井登美雄（かないとみお）

詳しい内容はこちら

・障がい者の生活支援について
・災害時における応援職員の受け入れ体制について



公明党
武者（むしゃ）　葉子（ようこ）

詳しい内容はこちら

安中市では、たとえ障がいがあっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく、生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいると思います。障がい等で不自由を感じている方々への生活支援について、親亡き後の支援、難聴者・人工内耳者支援について、市の取り組みを伺いました。

頻発する厳しい自然災害は、日本全国で多発し、住民の暮らしを脅かしています。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震、また近年頻発する豪雨災害は、全国各地で多発し、甚大な被害をもたらしています。自治体の職員自身も被災を免れません。本市においても非常時の体制を整えておくことは重要と考えます。そこで、本市の災害時における応援職員の受け入れ体制の受援計画の策定状況、災害業務ごとの人数の算定、想定訓練の実施状況など、本市の見解を伺いました。



障がい福祉の窓口

市長に３つの政策提言をしました

福祉民生常任委員会　委員長　長嶋　陽子



3歳未満児における保育料無償化について

少子化対策として子育て世帯の経済的負担を軽減するため、県内他市の動向を踏まえ、３歳未満児の第一子保育料無償化に向けた検討を進める。

市内保育施設の紙おむつの取り扱いについて

国の通知に伴う使用済みおむつの処分により保育施設に負担が生じており、家庭ごみ同様の処理方法が可能か、現在の運用を検証する。

子どもの遊び場･居場所に関する情報発信の充実及び公園･児童館等の整備について

子育て世帯のニーズを踏まえ、既存の遊び場等の情報発信で利用を促進しつつ、市民ニーズと照らした効果的な公園や児童館等を整備する。

政治倫理審査会の結果を報告します

対象議員：吉岡完司　議員

事　　案：市内で開かれたスポーツ大会の開会式に招かれた際、現金３千円を包んで手渡した

結　　果：安中市議会議員政治倫理条例第４条第１号に違反する

措　　置：文書による戒告

令和７年度決算を掘り下げる

その他の質問はこちら
（付属資料をご覧ください）

令和８年第３回定例会では、一般会計、３つの特別会計および４つの事業会計について、令和７年度予算が目的どおり適正に執行され、成果をあげているかなどを３日間にわたり決算審査特別委員会を開催して審査し、全て認定され、最終的に９月25日の本会議で可決されました。

審査の中では様々な質問があったため、一部を紹介します。

一般会計歳出質問

【２款　総務費】

Q　電子通貨事業のチャージ等負担金の内訳、採算性の見込み、今後の課題、市の負担、中小の小売店への対応は。

A　本市の、チャージ等負担金は、店舗での売上金に相当するもので、決算額２億7,507万1,015円で、チャージ分の１億9,359万8,000円が歳入として収入済みである。採算性の見込みについては、利用者および加盟店の拡大が必要だが、財政負担に対し地域の活性化により市民の幸福度が上回るよう努めていく。今後は、幅広い活用の可能性を検討し、地域に定着する仕組みづくりを進めていく。

安中市電子地域通貨
UMECA
電子通貨事業

Q　マイナンバーカードの安中市の所持率は83.4％と高いが、土日が休みの方のために土日にカード作成ができないのか。

A　以前は、毎月第一日曜日の正午まで開設していた日曜窓口で手続きができたが、新庁舎移転後は開設していない。現在は、毎週水曜日の午後７時まで開設しているマイナンバーカード専門の窓口で更新や交付ができる。

Q　令和７年度のふるさと創生寄付金の実績と収支は。

A　個人からの寄付件数は31,161件、寄付金額は約５億5,300万円。実質的な収支については、経費および市民が他自治体へ寄付したことによる市民税控除額を差し引き、更に交付税の増額分を加える算出方法だと、約２億5,900万の黒字となっている。

Q　空き家対策推進事業の空家除却費補助金制度の概要は。

A　空き家所有者が、自発的に空き家の除却を行なう場合に要する費用の一部を補助する。除却に要する費用の２分の１、上限は30万円である。令和７年度の交付件数48件、交付金額の合計が1,440万円である。

【４款　衛生費】

Q　マテリアルリサイクル推進事業の概要、国庫資金の返還理由、これに代わる事業の進捗状況は。

A　この事業は、行政回収によるリサイクル率の向上と再資源化を図る中間処理施設事業

で、当該事業を中止して予算を返還した理由は、建設費用の大幅な高騰の見込みや、費用対効果を考えたため。これに変わる事業とはならないが、8カ所の拠点で資源物の回収を強化するための事業を行い、年内に資源倉庫を設置できるよう準備を進めている。

【5款　労働費】

Q　市内の3つの高校生に地元企業を知ってもらい、将来の就職先に選んでもらうことを目指し、各企業を訪問し工場の施設見学や従業員の声を直接聞いているが成果はどうか。

A　市内3つの全ての高校で実施され、昨年から全学年を対象に実施し248名の生徒が参加し7社の企業訪問をした。今後も効果的な市内企業の周知となるよう取り組む。

【6款　農林水産業費】

Q　農業次世代人材投資資金の概要、実績、返還金、指導体制は。

A　国庫事業で、主に新規就農者への機械導入補助や農業資材購入補助として交付している。実績や返還金発生は、用件が未達成で返還した案件はない。死亡のため離農した案件が2件あるが、国が免除を認め返還はない。指導体制は3年間就農状況報告書の提出、現地確認、営農指導支援で、フォローアップしている。

Q　当初予算に計上されていた農業振興対策事業補助金が執行されなかった理由は。

A　事業主体であるJAが補助事業を実施しなかったことや、農業後継者からの補助金交付申請がなかったこと。また、補助対象者である認定農業者の意向確認ができなかったことや、希望した農業法人が他の補助メニューにより資金調達が可能となったため。

【7款　商工費】

Q　世界文化遺産登録有識者会議視察補助金の概要、視察先、視察成果の活用は。

A　碓氷峠鉄道施設群の世界文化遺産登録に向けた施策策定のために、類似施設や世界遺産の現地視察を行う補助金で、6名が参加し補助金額は18万円。大井川鉄道のアプト式との比較、韮山反射炉世界遺産の登録評価基準の把握など、推進する上で参考になる視察であった。



世界文化遺産登録有識者会議視察の様子

Q　eスポーツイベントに補助金150万円が支出されている。経済効果は。

A　来場者数は906名、ライブ配信視聴者数は6万112名であり、県内外の方々へPRができたと考えている。しかし、市内消費額等の把握ができていないため、今後は市外からの来訪者数や宿泊状況、会場外での消費額なども確認し、成果の見える化を目指す。



eスポーツイベントの様子

Q 道の駅の民間活力の可能性調査をされたようだが、五料の直売所管理業者に聞くと農産物の直売所の運営は大変厳しいと聞く。今後の見通しは。

A 運営する側の視点として意見を取りまとめた。農産物などの直売所などについては今後募集する管理運営会社がどのような運営をするか決まったうえで協議をしていく。

【8款　土木費】

Q 住宅省エネ改修補助金の決算額が1,159万9千円である。補助制度の概要は。

A 住宅を改修する工事等で、省エネ化に資するものとして、外壁・屋根・窓等の断熱改修や省エネルギーに効率的な設備機器の設置が対象。市内業者に発注することが補助要件で費用の10分の2、上限10万円。令和7年度から補助金の受取方法としてUMECAを選択された方は、10%上乗せして交付。

【9款　消防費】

Q 当初予算に計上されていなかったが、消防大学校負担金50,500円の概要は。

A 消防大学校については、例年12月頃に入校依頼があり、今回は消防団長が受講したもの。受講した消防団長科は、消防団上級幹部に必要な知識・能力の習得を目的とする。団長本人の希望を受け手続きを行い令和7年7月28日から8月1日にかけて受講した。予算は節全体の範囲内で執行した。



消防大学校パンフレット

【10款　教育費】

Q 文科省から令和7年に学校の補助教材、学用品などにかかる保護者の費用負担をできるだけ軽くするようにと通達が出されているが小中学校での対応についてはどうなっているか。

A 現在、本市においては、個人が購入している教材を学校備品として整備していないが、その対策の重要性については認識しており、今後、各学校とも協議をし、検討していく。

一般会計歳入質問

【歳入】

Q 令和7年度の経常収支比率は。

A 令和7年度は98.0%であり、前年の99.3%より改善した。要因は、税収が伸び、経常的収入が増加したことだが、税収増は市民税法人割の影響が大きく、これは安定的な税目とは言えない。今後は、業務の見直しや効率化を進め、公共施設や事業の見直し等、コスト削減に努める。

事業会計質問

【水道事業会計】

Q 令和7年度の収支が約631万円の純損失を計上した主な要因は。

A 収入面では、料金収入の対象となる有収水量が前年度に比べ2.46%減少したこと。費用面では、昨年夏の猛暑およびその後の少雨により、浄水処理に用いる薬品の使用量が増加したこと、資器材価格、人件費の上昇といった水道事業を取り巻く経営環境が変化していることが挙げられる。

議案解説

主な審議結果を解説



令和８年安中市議会第３回定例会が、９月１日から９月25日までの25日間の会期で開催され、市長から27議案が提出されました。今号では、その中から２議案を解説します。

定例会の審議結果一覧（賛否の分かれた議案）は14ページに掲載しています。



議案第60号　安中市立碓水病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について

特別病室の新料金を可決

物価高騰の影響等による経営状況の悪化および近隣の類似病院との使用料の比較により、特別病室の金額が令和９年１月から引き上げられます。審議の中で、新料金に関して質疑があったため、主な質疑を掲載します。

Q：どの程度の収益が見込めるのか。

A：令和７年度の実績をもとに想定すると、約500万円程度の増収を見込んでいる。

Q：新料金の周知はどのようにするのか。

A：病院内の掲示板の他に、広報紙やSNSを通じた周知を想定している。

区分	旧料金	新料金
１人室Ａ	4,400円	5,500円
１人室Ｂ	3,300円	4,400円
１人室（療養病棟）	2,200円	2,200円

※１日あたりの料金

議案第75号　令和８年度安中市一般会計補正予算（第３号）について

老人福祉センターの修繕費等を可決

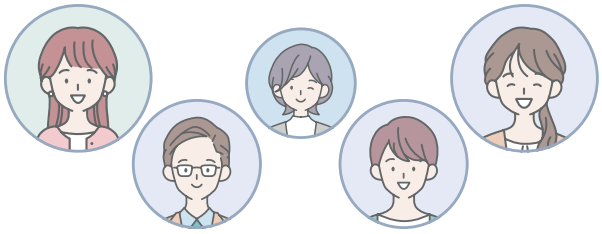
補正予算として歳出487万5,000円を追加しました。審議の中で、その一部である老人福祉センターの修繕費について質疑があったため、主な質疑を掲載します。

Q：老人福祉センターの修繕費165万円について、補正に計上した経緯は。

A：老人福祉センターに設置してあるボイラー２基のうち１基の真空ポンプが故障した。今年度すでに施設内４カ所の修繕を行っており、当初予算では対応できないため補正予算措置をお願いするものである。

Q：工事期間はどのくらいになるのか。

A：部品の納品に１か月半、修理完了後、水質検査に10日前後を予定している。



議会を傍聴しませんか

傍聴のご案内（令和８年５月７日より本庁舎が移転しました）

●本会議の受付所　本庁舎３階　議場前
①傍聴受付用紙に住所・氏名を記入
②傍聴受付用紙を受付BOXへ入れ入場
※議案書の貸し出しをしています（先着5名）
※入退場自由／定員22人

ネットでも視聴できます

●本会議の様子をスマホやタブレット等で視聴できます（ライブ中継・録画視聴）
●本庁舎1階ロビーでも生中継

映像配信はこちら

次の定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
					11/27 本会議 開会　9:30～	28
29	30	12/1	2 総務文教常任委員会 9:00～	3 福祉民生常任委員会 9:00～	4 経済建設常任委員会 9:00～	5
6	7	8 本会議 一般質問 9:00～	9 本会議 一般質問 9:00～	10	11 本会議 閉会　9:00～	12

安中市議会　公式YouTubeチャンネルのご案内

安中市議会では、常任委員会や高校生との意見交換会、議会報告会など、市議会の活動や取り組みをYouTubeで紹介しています。公式YouTubeチャンネルは右の二次元コードからご覧ください。

映像配信はこちら

令和8年第3回定例会（9月25日採決）議員個人の賛否結果一覧表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
その他の議案は、議長・欠席者を除く全員賛成で可決されました。

議案名		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
		議員名	松本 次男	小川 剛	金井 久男	原田 大	櫻井 喜久江	池島 利明	宇佐美 誠	金井 登美雄	小林 克行	巽 久男	柳沢 浩之	高橋 由信	長嶋 陽子	武者 葉子	吉岡 完司	小林 訂史	畠 次雄	今井 敏博	佐藤 貴雄	柳沢 吉保	
議案第５４号	安中市市税条例の一部を改正する条例について		×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	－	○	可決
議案第６７号	令和７年度安中市一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	認定
議案第６８号	令和７年度安中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	認定
議案第６９号	令和７年度安中市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	認定
議会議案第６号	安中市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について		×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	－	○	可決

※議長は、採決に加わらないため「－」としています。

【○：賛成　×：反対　除：除斥　棄：棄権　欠：欠席】

議会報編集委員

委員長　松本　次男／副委員長　長嶋　陽子
金井　久男／宇佐美　誠／池島　利明／金井　登美雄／小林　克行／高橋　由信

発行日／令和8年11月10日　　発行・編集／安中市議会・議会報編集委員会
〒379-0192　群馬県安中市安中2-13-7　電話027-382-1111（議会事務局／内線1354）　　印刷／株式会社若草プラス